

特別企画

対話の時代の 臨床倫理 ジレンマ・メソッド入門

〔企画〕

田代 志門

(東北大学大学院文学研究科 社会学専攻分野／国立がん研究センター中央病院 臨床倫理支援室)

1. 臨床倫理とは誰にとっての問題か？ 対話の技法としてのジレンマ・メソッド

田代 志門

(東北大学大学院文学研究科 社会学専攻分野／
国立がん研究センター中央病院 臨床倫理支援室)

2. 臨床倫理の世界的潮流とMCD ——ジレンマ・メソッドの位置付け

服部 健司(群馬大学大学院医学系研究科 医学哲学・倫理学)

3. 構造化された倫理カンファレンスを目指して ——ジレンマ・メソッドに学ぶ

田代 志門

(東北大学大学院文学研究科 社会学専攻分野／
国立がん研究センター中央病院 臨床倫理支援室)

4. ジレンマ・メソッドによる臨床倫理カンファレンス

予後が残りの少ない時間のなか、家族との面会を拒否し続ける患者と面会を希望する家族の希望にどう応えるか

■事例提供

守田 亮(秋田厚生医療センター 呼吸器内科)

■ファシリテーター

清水 千佳子(国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科)

■参加者

田代 志門

(東北大学大学院文学研究科 社会学専攻分野／
国立がん研究センター中央病院 臨床倫理支援室)

一家 綱邦

(国立がん研究センター社会と健康研究センター 生命倫理・医事法
研究部 医事法研究室および同中央病院 臨床倫理支援室)

宮田 佳代子(国立がん研究センター中央病院 患者相談支援センター)

里見 絵理子(国立がん研究センター中央病院 緩和医療科)

稲村 直子(国立がん研究センター中央病院 看護部)